

令和4年度

鳥羽市 企業会計 補正予算書

目 次

水道事業会計補正予算(第1号)	1
補正予算(第1号)に関する説明書	2
補正予算(第1号)実施計画 [収益的収入]	3
予定キャッシュ・フロー計算書	4
予定貸借対照表	5
補正予算(第1号)実施計画明細書 [収益的収入]	7
注記	8

議案第 21 号

令和4年度鳥羽市水道事業会計補正予算（第1号）

（総 則）

第1条 令和4年度鳥羽市水道事業会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第2条 予算第3条に定めた収益的収入の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（ 計 ）
収 入	千円	千円	千円
第1款 水道事業収益	1,200,600	0	1,200,600
第1項 営業収益	1,066,592	△41,260	1,025,332
第2項 営業外収益	133,998	41,260	175,258

（他会計からの補助金の補正）

第3条 予算第9条中「16,809千円」を「58,069千円」に改める。

令和4年7月29日 提 出

鳥羽市長 中村 欣一郎

水道事業会計補正予算
(第1号)に関する説明書

令和4年度鳥羽市水道事業会計補正予算（第1号）実施計画

収益的収入及び支出

収入

(単位:千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計
1	水道事業収益		1,200,600	0	1,200,600
	1	営業収益	1,066,592	△ 41,260	1,025,332
		1 給水収益	1,065,118	△ 41,260	1,023,858
	2	営業外収益	133,998	41,260	175,258
		2 他会計補助金	1,955	41,260	43,215

令和4年度鳥羽市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日まで)

(間接法による)

(単位:千円)

1. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当期純利益	85,493
減価償却費	328,103
引当金の増加(減少△)	△ 8,366
固定資産除却費・売却損	2,978
長期前受金戻入	△ 131,387
営業活動による資産及び負債の増減	
収益に関する項目	5,417
費用に関する項目	△ 18,178
その他に関する項目	1,730
小計	<u>265,790</u>
利息及び配当金の受取額	556
利息の支払額	△ 2,286
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u><u>264,060</u></u>

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出	△ 454,083
固定資産の売却による収入	0
国・県補助金等の収入	45,000
国・県補助金等の返還	0
投資有価証券の取得による支出	0
投資有価証券の売却による収入	0
一般会計からの繰入	19,811
工事負担金等収入	6,808
投資支出	△ 1
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u><u>△ 382,465</u></u>

3. 財務活動によるキャッシュ・フロー

企業債による収入	250,000
企業債の返済による支出	△ 166,015
リース債務の支払	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u><u>83,985</u></u>

資金の増加(△減少)額	<u>△ 34,420</u>
資金の期首残高	<u>1,948,197</u>
資金の期末残高	<u><u>1,913,777</u></u>

令和4年度鳥羽市水道事業予定貸借対照表（消費税抜き）

（令和5年3月31日）

（単位：千円）

		資 産 の 部	
1 固 定 資 産			
(1)有形固定資産			
イ土地		445,098	
ロ建物	971,554		
減価償却累計額	506,333	465,221	
ハ構築物	14,733,140		
減価償却累計額	7,850,013	6,883,127	
ニ機械及び装置	2,209,829		
減価償却累計額	1,267,249	942,580	
ホ車両運搬具	5,579		
減価償却累計額	3,505	2,074	
ヘ工具器具及び備品	29,127		
減価償却累計額	23,465	5,662	
ト建設仮勘定		15,566	
有形固定資産合計			8,759,328
(2)無形固定資産			
イ電話加入権		216	
ロ施設利用権		9,831	
ハリース資産		0	
無形固定資産合計			10,047
(3)投資その他の資産			
イ投資有価証券		0	
ロ基金		9,932	
ハ破産更生債権等		4,426	
ニ貸倒引当金		△ 4,426	
投資その他の資産合計			9,932
固定資産合計			8,779,307
2 流 動 資 産			
(1)現金預金			
イ現金		15	
ロ預金		1,913,762	
現金預金合計			1,913,777
(2)未収金		165,985	
貸倒引当金		△ 11,238	154,747
(3)貯蔵品			18,796
(4)前払金			0
(5)その他流動資産			1,000
流動資産合計			2,088,320
資産合計			10,867,627

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債		1,145,234	
(2) 他 会 計 借 入 金		0	
(3) リ ー ス 債 務		0	
(4) 退 職 給 付 引 当 金		46,969	

固 定 負 債 合 計

1,192,203

4 流 動 負 債

(1) 一 時 借 入 金		0	
(2) 企 業 債		185,282	
(3) リ ー ス 債 務		0	
(4) 未 払 金		52,629	
(5) 前 受 金		0	

(6) 引 当 金			
イ 賞 与 引 当 金		5,466	
ロ 法 定 福 利 費 引 当 金		1,043	

引 当 金 合 計		6,509	
(7) そ の 他 流 動 負 債		1,085	

流 動 負 債 合 計

245,505

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金		6,239,832	
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額		△ 2,816,665	

繰 延 収 益 合 計

3,423,167

負 債 合 計

4,860,875

資 本 の 部

6 資 本 金

(1) 自 己 資 本 金		4,043,225	
---------------	--	-----------	--

資 本 金 合 計

4,043,225

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金			
イ 工 事 負 担 金		210,261	
ロ 受 贈 財 産 評 価 額		58,753	
ハ 国 庫 補 助 金		167,340	
ニ 県 補 助 金		42,023	
資 本 剰 余 金 合 計		478,377	

(2) 利 益 剰 余 金			
イ 減 債 積 立 金		366,190	
ロ 建 設 改 良 積 立 金		832,452	
ハ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金		85,493	
ニ 繰 越 利 益 剰 余 金		0	
ホ 未 処 分 利 益 剰 余 金 変 動 額		201,015	

利 益 剰 余 金 合 計

1,485,150

剰 余 金 合 計

1,963,527

資 本 合 計

6,006,752

負 債 資 本 合 計

10,867,627

令和4年度鳥羽市水道事業会計補正予算(第1号)実施計画明細書

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款・項	目	既決予定額	補正予定額	計	明 細		
					節	金額	備 考
01水道事業収益		1,200,600	0	1,200,600			
01営業収益		1,066,592	△ 41,260	1,025,332			
	01 給水収益	1,065,118	△ 41,260	1,023,858			
					001 水道使用料	△ 36,037	水道基本料金減免(3ヵ月)※官公署除く
					002 神島水道使用料	△ 684	
					003 答志島水道使用料	△ 3,543	
					004 菅島水道使用料	△ 996	
02営業外収益		133,998	41,260	175,258			
	02 他会計補助金	1,955	41,260	43,215			
					001 一般会計補助金	41,260	水道基本料金減免分補助

注 記

I. 重要な会計方針

1 たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 先入先出法による原価法。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

・減価償却の方法 定額法による

・主な耐用年数

建物 15～50年

構築物 40～60年

機械及び装置 6～20年

工具器具及び備品 2～20年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

・減価償却の方法 定額法による

・主な耐用年数

施設利用権 31年

3 引当金の計上方法

(1) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、簡便法を採用し、当年度末における退職手当の要支給見込額に相当する金額を計上している。

(2) 賞与引当金

職員の期末及び勤勉手当(会計年度任用職員の期末手当を含む。)の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づいて当年度の負担に属する額を計上している。

(3) 法定福利費引当金

職員の期末及び勤勉手当(会計年度任用職員の期末手当を含む。)に係る法定福利費の支給に備えるため、当年度末における支払見込額に基づいて当年度の負担に属する額を計上している。

(4) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権及び貸倒懸念債権については貸倒実績率により、破産更生債権等については回収可能性を検討し、現状に応じた不能見込額を計上している。

4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

II. 予定キャッシュ・フロー計算書関連

重要な非資金取引

該当事項なし

III. 令和4年度補正予定貸借対照表等関連

1 企業債の償還に係る他会計の負担

貸借対照表上に計上されている企業債（当該年度末の翌日から起算して1年以内に償還される予定のものも含む。）のうち、繰出基準に基づき、一般会計が負担すると見込まれる額は、39,386,664円である。

2 引当金の取崩し

(1) 賞与引当金の取崩し

令和4年度において、夏期賞与に係る前年度負担分として5,109,000円を取り崩した。

(2) 法定福利費引当金の取崩し

令和4年度において、夏期賞与に係る法定福利費の前年度負担分として972,000円を取り崩した。

IV. セグメント情報の開示

報告セグメントの概要及び事業内容

鳥羽市水道事業では、市内全域において、同一水系による事業運営を行い、1セグメントとされていることから記載を省略している。

V. 重要な後発事象

該当事項なし。